

令和7年12月三田市議会定例会(第384回)一般質問発言通告一覧

(第2日・12月12日 個人質問)

22番 今北 義明 <一問一答>

- 1 株式会社サンフラワーの諸課題について
 - (1) 負債の返済計画について伺う。
 - (2) 経営再建計画・建物や設備の改修計画等について伺う。
 - (3) 連帯保証人の解決について伺う。
- 2 雇用推進に関わる諸問題について
 - (1) 北摂三田第三テクノパーク計画の事業化推進が保留になったのは、なぜか伺う。
 - (2) 企業誘致による雇用創出の取組について伺う。

7番 村手 秀樹 <一問一答>

- 1 生活利便性向上への取組について
 - (1) 三田市内での出産・育児への支援について。
 - (2) 「赤ちゃんの駅」での搾乳について。
 - (3) 政府が検討する「ふるさと住民登録制度」について。
 - (4) 買い物に不便を感じる地域でのコンビニエンスストア出店の推進について。
 - (5) 今後の地域内交通充実への取組について。
- 2 歳入拡大と歳出削減への取組について
 - (1) 北摂三田第三テクノパークの事業化保留と今後の企業誘致促進について。
 - (2) ふるさと納税額を増やすための戦略について。
 - (3) 観光産業の成長戦略の具体的施策について。
 - (4) 公共工事における歳出削減に向けた取組について。
 - (5) ごみ処理費用削減に向けた取組について。

12番 小山 裕久 <一問一答>

- 1 持続可能な農業の推進について
 - (1) 担い手不足が懸念される農業のあり方について。
 - (2) 新規就農者を増やすための年齢制限の緩和について。
 - (3) 農業を志す方がしっかりと研修できる受け入れ先への支援について。
 - (4) 新たな販路拡大のための販売施設の整備について。
- 2 J R福知山線複線化工事に係る貸付金償還金について
 - (1) 償還後一般財源化せず基金として運用する事が適切だと思うが、市の考えは。
 - (2) J R西日本への要望実現に市が財政負担することについて。
 - (3) J R西日本に対して市の影響力を高める取組について。

19番 佐貫 尚子 <一問一答>

- 1 市民への行政情報公表の方針と公表体制の改善について
 - (1) 市民への情報の公表について。
 - (2) 情報公表のタイミングと内容の妥当性について。
 - (3) 行政情報公表体制の改善について。
- 2 市道区画線の剥離対策について
 - (1) 市内区画線の剥離状況の現状把握について。
 - (2) 補修や更新の優先順位決定の基準について。
 - (3) 高齢化や車の運転支援技術の進歩を踏まえ積極的に区画線補修を進めることについて。
- 3 歯及び口腔の健康づくり推進について
 - (1) 市が推進する歯・口腔の健康づくりの現状について。
 - (2) 成人・高齢者の口腔機能低下対策について。
 - (3) 市の定期歯科健診受診率向上に向けた啓発の強化について。

21番 福田 秀章 <一問一答>

- 1 第5次三田市総合計画後期基本計画の策定について
 - (1) 第5次三田市総合計画後期基本計画の基本方針などの変更について。
 - (2) 後期基本計画の中心となる施策について。
 - (3) 総合計画を実効性の高い計画とするための市の見解について。
- 2 JR 新三田駅のエスカレーター設置について
 - (1) 要望書が提出され三田市は JR 西日本へ働きかけをされたかについて。
 - (2) JR 西日本がエスカレーターを設置しない理由について。
 - (3) 新三田駅のエスカレーター設置への田村市長の考えについて。
- 3 三田市の10年先を見据えた農業振興について
 - (1) 三田の農業を取り巻く現状への田村市長の認識について。
 - (2) 10年先を見据えた持続可能な三田の農業をどのように描かれるのか。
 - (3) 描かれたビジョンに向けての取組について。

10番 木村 雅人 <一問一答>

- 1 財政運営について
 - (1) 新病院整備における財政負担の問題について、市の見解を伺う。
 - (2) 「予算編成の大原則は歳入準拠」は長期的財政においても同様と考える。市の見解を伺う。
 - (3) 新病院企業債償還に備えた毎年3億円の基金積立は年度予算を圧迫し市民サービスの低下・削減を生じさせることについて、市の見解を伺う。
 - (4) 公共施設の長寿命化や公共インフラの更新計画見直しの財政効果について、市の見解を伺う。
- 2 三田市民病院の経営状況について
 - (1) 三田市民病院の現時点での運営状況と年度末に向けての見込みについて、市の見解を伺う。
 - (2) 来年度以降、運営状況が赤字になった場合の対応について、市の見解を伺う。
- 3 「重点支援地方交付金」等を活用した支援策の実施について
 - (1) 物価高騰の長期化により小規模事業者の経営も疲弊している。市として市内事業者の経営状況の把握調査について、市の見解を伺う。

- (2) 市民生活への直接支援として水道基本料金の減免等や小規模事業者へのエネルギー価格高騰対策支援等が必要ではないか。市の見解を伺う。

3番 假屋 浩司 <一問一答>

1 市内水道業者の公共工事について

- (1) 水道業者の持続・育成と緊急対応体制について。

(ア)漏水修理対応業者数、近隣市の応援体制、市内の協力体制についての市の認識について伺う。

(イ)業者維持・育成、緊急対応強化の今後の方針について伺う。

- (2) 令和7年度の管工事の更新予定と今後の方向性について。

(ア)令和7年度の更新工事発注の現状について伺う。

(イ)更新計画の優先順位と市内業者への影響と技術継承の考えを伺う。

2 2世代定住支援について

- (1) 2世代定住を促進する本市の方針について。

(ア)本市の現在の施策の位置づけについて伺う。

- (2) 同居・近居世帯への補助制度や空き家活用と連動した支援制度について。

(ア)他自治体の先進事例を参考に本市独自の施策を導入する考えはあるのかを伺う。